

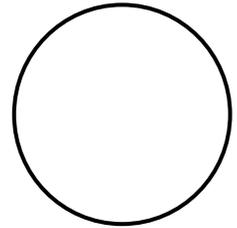


世界水の日は、1992年6月の「国連環境開発会議」（ブラジル・リオデジャネイロ）で提案（制定を勧告）され、同年12月に制定されました。

## 私たちの生活と水

ワーク1：日常生活の中で、どのような場面が水と関係しているか考えてみましょう。

ワーク2：下記の内訳を右の円グラフへ記入してみよう。



都民1人が1日に使う生活用水の量は平均221ℓ程度で、内訳は43%が風呂、20%がお手洗い、15%が炊事、16%が洗濯、6%がその他（洗顔など）と言われています（2021年度）。

補足：作物・植物や工業製品などが作られる間に消費されている水のことを「バーチャルウォーター」と呼びます。

## 人類が使える水の量は、地球全体の水のうち約\_\_\_分の1（分数、答えは右下）

地球の水は約97.47%が海水、氷河などが約1.76%、地下水などが約0.76%となっていて、地球上で人類が容易に使える水の量は、地球全体の水のうち約0.01%のみです。しかし、人口急増、経済や産業・都市化、インフラの発展などによって、一人あたりの水の消費量が増えています。その上、環境破壊・気候変動が深刻になってきているため、私たちが使える地球上の水の量がさらに減っていくという悪循環が起きています。

## 水インフラを整備する必要・重要性

家・地域・学校などに水道・井戸・お手洗いなどの水インフラが整備されていないことが、「脱水や感染症などの病気で亡くなってしまふ」などの保健面の問題だけではなく、「学校に通えない」

「水汲みだけで1日かかるので仕事ができず収入が無い」「女性が性暴力を受ける」「川や路上で用を足しざるを得ないことで水質・土壌汚染が起きる」など、ほかの社会問題の原因にもなっています。言い換えれば、水インフラを整備すればあらゆる社会問題を解決できるのです。



参考・引用

- ・東京都水道局HP「よくある質問」「くらしと水道」・内閣官房水循環制作本部事務局HP「水循環とは!？」
- ・国土交通省HP「水資源に関する国際的な取組み」(第7章)「世界の水資源」
- ・環境省 浄化槽サイト「快適な生活と美しい環境をつくる 合併処理浄化槽 (P.3)」

ITC/CC/T: 2023

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント 検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン